



広報うらにし 11月号

第 189 号

2018 11月1日

発行：浦西自治会

編集：自治会広報部

・てだこ祭り 27～28日

今回ほど盛り上がり、人出の多い祭りはなかったのでは？シークレット・ゲストが、何と「モンパチ」。総合グラウンドを埋め尽くしたのは若者たち。熱狂的、大音響で繰り広げられた舞台に息つく間もなく観客は総立ちで応えた。年配自治会長は「ダンパチ？」「カンパチ？」とその名も知らず、戸惑った。「結成 20 周年で大好きな浦添市のために来ました」との弁。感動でした。仲間由紀恵さんも寄付をしたとか？今回の花火は豪華で迫力満点でした。地元へ貢献してくれる若者たちに感謝とともに、浦添市の明るい未来が見えた気がして嬉しく思いました。



・文化の日クラシックコンサート 11月3日(土) 午後7時～

自治会報でもお知らせしていますが、今年 2 月に開催して好評だったクラシックコンサートを開催します。バイオリンとピアノの音色を間近で鑑賞できるホームコンサート風なスタイルで楽しめます。三名のスキルの高い奏者はドレスアップして臨みます。他所では味わえない雰囲気、曲の説明も分かり易く勉強になります。軽妙なトークも楽しく飽きの来ない舞台は感動の連続になる事でしょう。サプライズの体験コーナーでは観客にバイオリン弾きを即興で行わせ、場を盛り上げます。体験を希望される方は是非ともご来場頂きたいものです。今回のコンサートがうまくいけば、毎年開催したいと考えています。



行政区住民登録人口(10月末)

世帯数 680 総人口 1726
自治会加入 407 加入率 60%

定期清掃(第3日曜日) リサイクル活動(同上)

11月行事

- * 図書丸来館 14、18 日
- 2 日 当山小避難訓練
- 3 日 クラシックコンサート
- 6 日 かりゆしセンター8 自治会親睦パークゴルフ大会
介護予防・コグニ体操体験会
- 19 日 ピラティス体操合同研修会
特定健診受診自治会表彰式
- 25 日 バリアフリーオリンピック
- 27 日 J A 支部長会視察研修

12月23日(日)
村回り組踊り
「二童敵討」公演
浦西公民館



・第29回自治会運動会 20日(土)

台風 25 号の影響で延期となった運動会、班長、評議員の皆様のおかげで楽しく、終わることができました。青年会の絶大なる協力もありスムーズな運営ができました。参加者が延べ 200 名ほどで、特に若い家族連れが多く喜ばしい限りです。順位は参加者も断トツで熱戦、接戦を制した F 棟が 3 連覇を果たしました。次回は 30 回大会となりますのでもっと盛り上げましょう。



注目！



親子で参加



集計係



審判長



F 棟優勝カップ返還



F 棟優勝



・10月 評議委員会 開催なし



・定期清掃 21日(日)

皆さんのご協力で環境美化が図られています。隣近所との和も高まり会話も弾みます。



B 棟・カトレア公園



E 棟・ひまわり公園



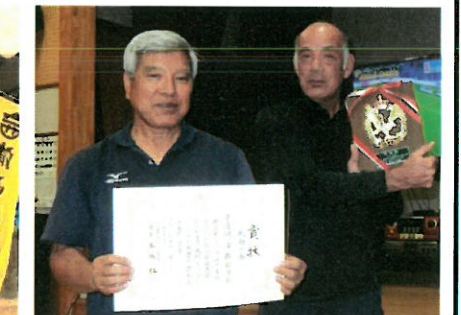
A 棟・あじさい公園

・自治会対抗陸上競技大会 女子1位 総合2位

41 自治会の中で総合 2 位は見事です。(1 位：小湾) これまで弱かった女子が奮起して初優勝を果たしました。逆に男性が 4 位に転落して総合優勝を逃してしまいました。各種目もれなくエントリーして 1 点 1 点を大切にすることが肝要です。40 歳以上の日本人・アジア人で初めて 100 メートルを 10 秒台で走ったスプリンター・譜久里武氏も助っ人で力を貸して頂きました。今回も、浦崎猛体育部長をはじめ、子ども会、青年会の皆様の選手集めの努力が実を結びました。特に、平良修前体育部長には幅広いネットワークで沢山のアスリートを集めて頂き感謝です。この勢いで次回は総合優勝を目指したいものです。



浦西自治会



・美らまち通り隊活動 28日(日)

今回はいろいろな行事が重なり、参加者が少なめでしたが、浦西 1 号線沿いの植え込みの除草を中心にを行いました。朝夕ひんやりとして、日差しもやさしくなってきました。作業もはかどります。次回は、秋の緑化運動で配布される花の苗を植えるため沢山の隊員の参加をお待ちしています。



・ふれあいサロン グランドゴルフ大会 25日(木)

過去数年天気が悪く開催できなかった G G。今回は日差しも和らぎ、絶好の日で楽しく清々しい汗をかきました。90 歳を超える松田喜代、下地好子さんのパワー溢れるプレイに一堂圧倒されました。健康長寿の素晴らしいお手本です。G G 後のワイワイガヤガヤで食べた弁当は格別の味でした。



・ネパールだより E-53 坂本守章 …チョウタラについて… 浦西団地の皆さん、ナマスカール…。

10 月中旬の早朝からヒマラヤ山脈の絶景が見られるようになりました。通勤途中ですが、見る度に「私はネパールにいるんだ…」と感傷に陥っています。今回は「チョウタラ」について紹介します。

活動で村(むら)に行くと、必ず道端に 2 本の大きな木があります。日本だと天然記念物になるような大木で、直径が 2 m 以上あり、よく観察すると木の葉が異なっていることに気づきます。2 本の木は「インド菩提樹」「ベンガル菩提樹」です。木の周辺は四角形の石段が 2 ～ 3 段に積まれています。そこを「チョウタラ(休憩場所)」と言っています。

旅人は休憩するときに 1 段目の石の上に荷物を置き、その荷物を 2 段目の石段で支え、1 段目の石に座り休憩します。出発するときは額に荷物の紐を固定し、ゆっくりと立上がり出発します。1 段目の高さは、出発するときの立ち上がりやすい高さ調整されています。

チョウタラの木は地域の篤志家によって寄贈され植えられています。篤志家達は旅人の休憩する場所を提供することで、自分の名も木と共に永遠に記憶に残ることを名誉と思い、木を植えたようです。でも、木が大きくなり、休憩場所に使われるようになった頃には、植えた当時の村人は亡くなり、知っている人はいなく、ただチョウタラの木だけが知っている(?) ようです。

写真は村へ栽培指導の帰りに撮った写真です。早朝に宿泊した町から坂道を山道を 1 時間ほど下り、農家を集めての栽培指導をした時の帰りです。行きは下り坂ですが、帰りは上り坂、山道を歩きながら、吐く息が速くなった所にチョウタラがありました。グッド・タイミングです。仲間の若い協力隊員と休憩している所へ、インド人の行商が休憩にやってきました。この行商のインド人、反物をインドから持ってきて村々を歩き、商売をしているようです。私達とはネパール語で会話をしていたが、ネパールの主要な部族の言葉を話せると言っていました。村に行けば部族が異なり、異なった言葉です。臨機応変に村の言葉を操り、商売をしていることを聞くと言語の学び方を考えさせられました。話す勇気が大切なことを…



* リサイクル収益金

10 月末実績(累計)
149,236 円

毎月第3日曜日

収益金は自治会活動費として有効に活用されています。今後とも、新聞、段ボール、アルミ缶などの提供にご協力をお願いします。



ペットのフン 放置しないで



飼主が責任を持って持ち帰ってください

